



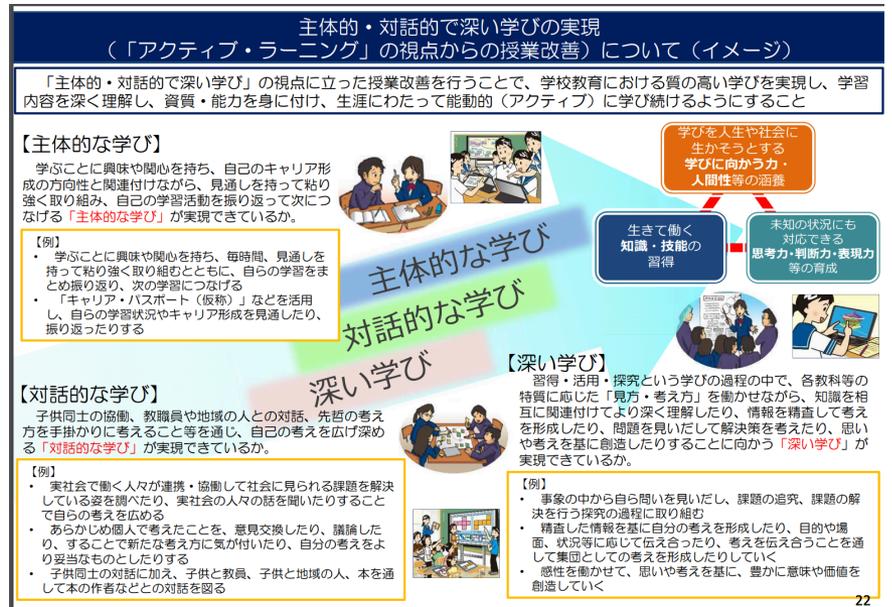
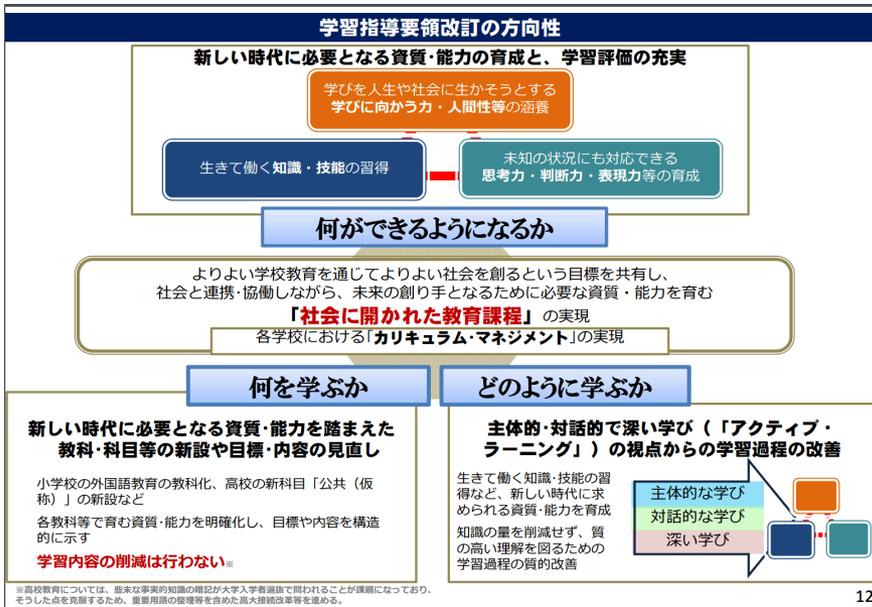
UTaTané

UTaTané Outline

新学習指導要領（2020-）

「主体的・対話的で深い学び」と「知識活用力」 ～生涯にわたって探求を深める未来の創り手を目指して～

- ・ 情報を的確に理解し、効果的に表現する（国語）
- ・ 社会的事象について資料に基づき考察する（社会）
- ・ 日常の事象や社会の事象を数理的に捉える（数学）
- ・ 自然の事物・現象を観察・実験を通じて科学的な概念を使用して探究する（理科）



※学校教育については、歴史的な事実的知識の暗記が大学入学選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要な暗記事項を含めた高大接続改革を進める。

科学をどう「伝える」か？



科学理解増進
(一方向情報発信)

対話
(知識共有)

参加
(知識構築)

科学との対話 (ストックルマイヤー, 2015)

科学理解増進：「市民へのSC」

科学技術の情報/研究を知らせ，教育・モデル形成を促す

対話：「市民とのSC」

知識交換により多様な見方を媒介，学際的なアプローチの統合

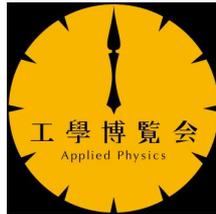
知識構築：「市民どうしでのSC」

異なる知識から新しい意味や理解を目指す。参加者が対等

背景 既存の学内団体等の概観

「科学を伝える」ことを目指す団体等は、すでに多数存在

東京大学
サイエンスコミュニケーションサークル



10分で伝えます!

東大研究最前線



✓一方的な「科学啓蒙」で終わらないために...

批判的思考 = 科学的思考の基礎を醸成できていない可能性

→膨大な情報を適切に取捨選択・活用し、知識構築を目指す必要性

✓統一的な開発・デザイン視点の要請

個々の実験・モノ・講演のデザインと同様、全体の体験デザインも必要

→トップダウン的コンセプトに基づいた統一的開発と企画デザインの実施



UTaTané

活動コンセプト

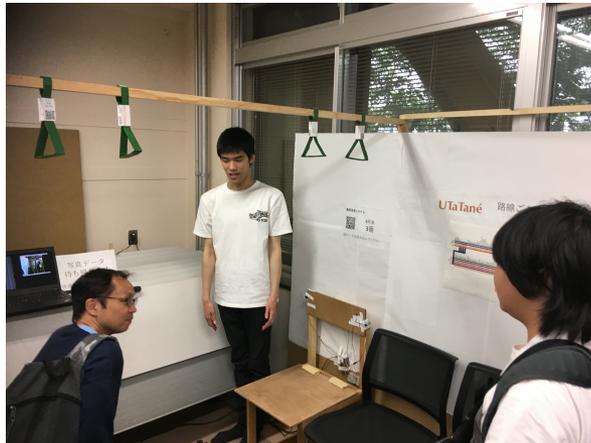
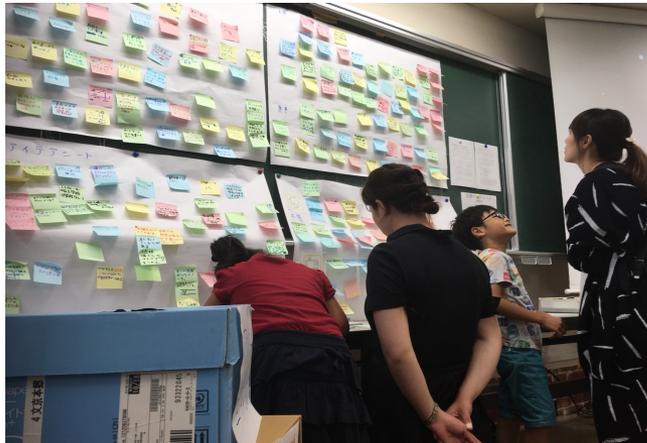
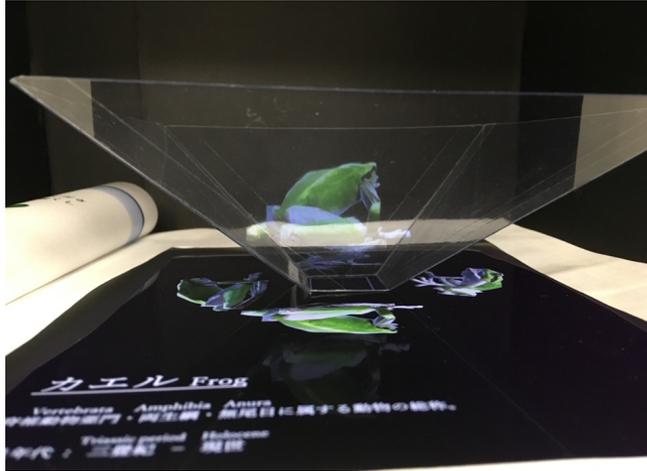
- I. 未来の生活が身近に感じられる、リアリティあふれる体験型企画
- II. 自由な発想を忘れない大学院生ならではの、先進的な技術の活用
- III. 統一したコンセプトが生み出す、アーティスティックな空間設計
- IV. 詳細な文献や研究の調査に基づく、実現性の高い未来の姿

「対話」を生み出すデザインの構造

- ✓ 「生活」に根ざした科学技術の紹介により、「生活」を思考の出発点に
- ✓ 「アイデア」を具体化したモノの展示により、「具体」を思考の出発点に



科学啓蒙に終わらず、非科学者が参画可能な「対話の場」を生成

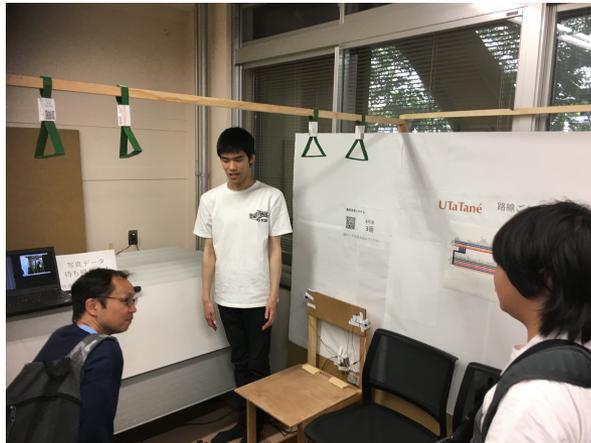


「生活空間」：非専門家の身近にある場所

「試作品を展示」：体験により「既有知識」の刺激



「子ども - 大人」や「専門家 - 非専門家」の壁を感じることなく、スタッフと来場者、来場者同士が「対話」できる場の提供を目指した。



駒場祭への出展について

「20年後の未来の家」を描く

キッチン班



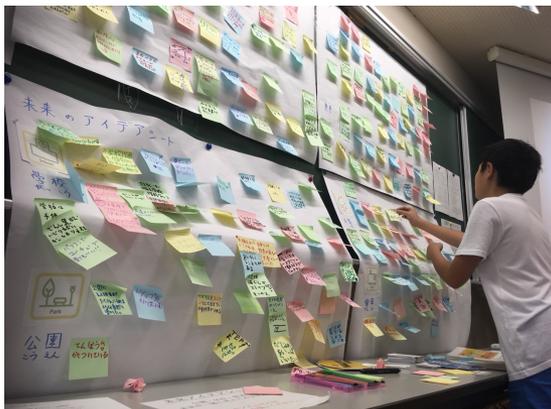
<https://jp.toto.com/products/kitchen/>

書斎班



<https://www.renoveru.jp/journal/3287>

装飾・体験デザイン



広報・渉外・事務





UTaTané

団体の活用方法

(1)コンセプトベースの開発でのスキルアップ

- ・現状分析から開発までの一貫したフロー・スパイラル構造を持つ
- 「面白い」だけでなく、社会的意義や思想を踏まえた開発が可能
- 就活等で「過去の実績」として、アピールがしやすい



「何かを作りたい」意欲ある開発のハードルを下げる効果

(2)様々な文献調査を通して、社会動向/研究開発の現状を知る

- ・現状分析やコンセプト考案を通じて、様々な文献資料にあたり調査
- 社会動向や研究開発の現状を知り、自分自身の「学び」につながる



「今を知り、未来を作る」ことで、将来的なビジョンの創生が可能に

(3)多様なバックグラウンドを持つ学生の交流の場に



おわりに

新歓， 随時受付中です！

(東大生以外， 社会人や中高生の方も興味があれば是非^^)

企業・学校法人等々との提携， イベント等のご相談も承ります